

自分の能力と可能性を掘り起こそう「可能性」の法則

27. 常にプラスアルファのサービスを心掛けよう

サービスをしすぎても失うものは何もない。得るだけだ。

アンドリュー・カーネギーといえば、音楽の殿堂「カーネギーホール」を建てた人物として有名です。日雇い労働者から身を起し、全米一の鉄鋼王にのしあがったカーネギーは、従業員の昇進テストを行うとき一つの基準を設けました。それはその人物が、報酬以上の奉仕をしたかどうかということです。カーネギーは、こう説明しています。

「給料は彼が実際にした仕事に対して支払うものだ。そしてボーナスはプラスアルファの積極性に対して支払うものだ。プラスアルファは同僚に対して素晴らしいお手本にをるものだ」

この審査をクリアし、日雇い労働者からユナイテッド・スチール社の社長に任命されたのがチャルーズ・M・シュワップでした。サービスをし過ぎても失うものは何もありません。奉仕した相手から、サービスに相当する代償を受け取れないこともあるでしょう。そんなときは、天に貸しをつくつたぐらいに考えるのです。その代償は、きつと複利でふくれあがって返ってくるでしょう。

他者への奉仕が、個運を招く

天に貸しをつくつたぐらいの考えも必要。

マーフィーの言葉

奇跡とは不可能なことを可能にするのではなく、可能であることを確認する作業です。

きこ書房

マーフィー「お金」と「幸せ」の法則 ジョセフ・マーフィー・インスティテュート編